



令和7年度新採用者集合写真

目 次

院長挨拶 「互いに尊重しあい患者さんに寄り添う病院を目指して“3つのR”」……………	2	「動物ふれあい広場」再開しました！ ～ワンちゃんに癒されて～……………	10
第79回 国立病院総合医学会報告 ……………	3	ボウリング大会を開催しました!! ……………	11
新病院情報システム(電子カルテ)稼働について……………	5	永年勤続表彰……………	12
R7年度 新採用者の院外研修を企画して ……………	6	慶祝のご紹介 ……………	13
「院外レクリエーション」再開にむけて……………	7	「受賞しました」大分県小児保健学会賞 一多機能型事業所「ひだまり」からの報告 ……………	14
ハロウィン～「ありがとう」の気持ちを込めて いたずらしちゃうぞ!?～……………	8	行事食の紹介 ……………	15
保育行事「ハロウィンパーティー」……………	9	外来診療担当表・ボランティア募集 ……………	16

■ 基本理念

わたしたちは、互いに尊重しあい、
あたたかく患者さんに寄り添って
最適な医療に努めます

We respect each other and strive to
provide optimal medical care in a warm
and patient-friendly manner.

■ 基本方針

1. 患者の権利と尊厳を守り、患者中心の医療をおこなう
2. 職員が安心して働くことができる
3. 政策医療を推進し、地域医療に貢献する
4. チーム医療を推進し、最適で安全な医療を提供する
5. 経営基盤を確立させる

■ 患者さんの権利と責務

1. 良質で安全な医療を公平に受ける権利があります
2. 診療内容について十分な説明を受けて質問する権利があります
3. 十分な説明を受けたうえで医療の内容を自身、または代議者が決定する権利があります
4. プライバシーが十分に保護される権利があります
5. カルテ開示を受ける権利があります
6. セカンドオピニオンを受ける権利があります
7. 臨床研究に参加し、またいつでも拒否できる権利があります
8. 自身の健康に関する情報をくわしく病院に知らせる責務があります
9. 他の患者さんや職員の権利を尊重し、診療に支障を来さないように配慮する責務があります

院長挨拶

互いに尊重しあい 患者さんに寄り添う病院を 目指して“3つのR”

病院長

末延 聡 一



皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

私は西別府病院の病院長に就任して2年目を迎えました。本冊子の紙面をお借りしてあらためてご挨拶を申し上げます。

就任のご挨拶時に約束した、患者さんや同僚に対する「尊敬」、病院の「将来・未来」を作っていく強い気持ちを基に「スピード感を持って」スタッフ全員で充実した医療と福祉の提供を行なうことに引き続き一球入魂してまいります。

そのためには3つの“R”をキーワードにしたいと思います。

最初にRe(リ):ブランディングです。当院の政策医療における役割は慢性疾患患者さんに対する医療と療育の提供である事に変わりはありませんが、この数年間でも病気の頻度が変わってきており、重症心身障害児・者さんには加齢や重症化への対応が必要となり、筋ジストロフィーを含む神経難病の患者さんでは新たな治療法の導入、また呼吸器感染症の分野では結核患者さんの減少とともに非結核抗酸菌を含む呼吸器疾患への対応が必要となってきました。若い世代では発達や精神の問題、医療的ケア児・

者の受け入れ問題などがあり、これらの問題に対応できる病院へとRe:ブランディングを始めます。臨床研究部やスポーツ外来、温泉のある病院として“唯一無二の施設”を目指します。

次に、リアル(Real)骨太計画です。先に述べたように重症心身障害児・者の患者さんが加齢に伴って骨折や成人病をはじめとした新たな問題が明らかになってきました。そこで私たちは多職種で連携し、骨折予防や早期発見・治療を目指します。当院の患者さんたちには少なくとも同年代が受けている以上の医療と最適な療養環境を提示し続けます。

最後にリクルートです。年齢により退職を迎える医師も増え、また当院だけの問題では無く看護職の採用に苦慮している病院が沢山あります。私たちは前記の「Re:ブランディング」を進め、職員みんなが意見を出し合い、楽しく充実して働くことが出来るように全力で整えていきます。どうかご理解とご支援をお願い致します。

Re:branding
Real
Recruit

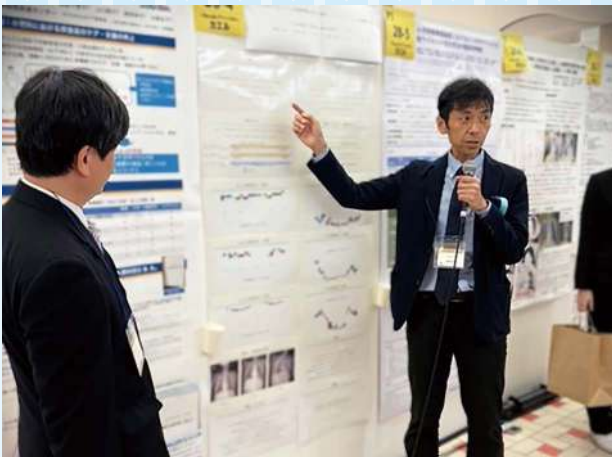
第79回 国立病院総合医学会報告

病院長 末延 聡 一

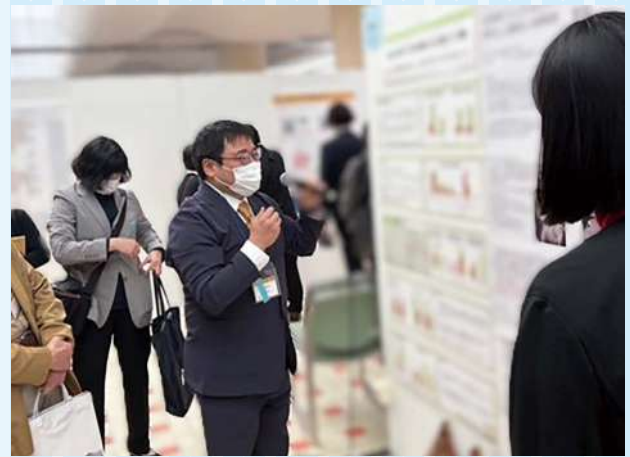
2025年11月7日～8日に石川県金沢市で開催された「第79回国立病院総合医学会」について報告します。

当院からは前日の会議を含めて多くの参加者があり、学会では5演題の発表を行いました。初日は3名発表し、「SMA1型患児における人工呼吸器管理とMI-Eが動肺コンプライアンスに与える影響の比較」をポスター会場で阿部聖司主任臨床工学技士が(写真1)、「フェノバル

ビタール長期使用が骨軟化症に関与した重症心身障害者例」をポスター会場で内山伸一小児科医長が(写真2)、そして「西別府病院に長期入院している重症心身障害児・者および神経難病の主治医変遷について—小児科側の視点—」を末延が(写真3)口演発表しました。2日目は2名発表し、「人工呼吸器を装着した重症心身障害児の登校～多職種との連携で安全な登校へ繋げるために～」をポスター会場で矢野葉奈4



(写真1)



(写真2)



(写真3)

東看護師が(写真4)、「大型医療機器における環境清拭用具選定の一例」をポスター会場で森山浩二放射線技師が(写真5：募集)発表しました。また和田将哉臨床工学技士が医療安全・アラーム対応のセッションで座長を担当しました。

両日とも発表に対して活発な議論があり、演者は適切に回答し、また他院の演題に対しても興味深く参加していました。

学会にあわせて多くの関係会議が開催され、特に重症心身障害協議会総会・関係者会議(写真6)では全国のセーフティーネット病院の院長や担当者が一堂に会して国や県、市町村に対してどのようにこの領域の重要性を理解してもらうのか等を長時間にわたり議論されました。

来年度は11月6日～7日に横浜で開催されます。たくさんの演題をエントリーしましょう。演者と直接の指導者には旅費支援を致します！



(写真4)



(写真5)



(写真6)

新病院情報システム（電子カルテ）稼働について

企画課 契約係長 清水博之

病院情報システムとは、患者の診療情報を手書きの紙カルテから電子データに移行し、PCなどの端末で一元管理するシステムです。患者の基本情報、病歴、検査結果、処方内容などがデータとして記録され、医療従事者間で共有でき、業務効率化や医療ミスの削減に貢献しています。

旧病院情報システムは7年10ヶ月に渡り運用してきましたが、このたび新システムへ更新し、2025年9月1日に稼働を開始しました。旧病院情報システムはJBCC株式会社、新病院情報システムは株式会社ソフトウェア・サービスとなります。本来、7年毎の更新が推奨される中、厳しい経営状況であり、多くの関係職員のご尽力により、ようやく更新することができました。

さて、稼働開始に向けて、新病院情報システム構築に約5ヶ月を要しました。各ワーキング

グループを設け、その中心メンバー主体のシステム委員会、幹部主体のコアメンバー会議を開催後、当院としての体制を確立していきました。また、職員の皆様が抱える不安を少しでも軽減できるよう、病棟リハーサル、外来リハーサルを実施しました。

大幅な業務変更が生じた部署や稼働に向けたマスタ登録に際しては、多くの職員の皆様にご理解とご協力をいただきました。稼働後も多数の問題点が出てきておりますが、その都度対応を進めております。まだまだ慣れない新病院情報システムでの運用が続きますが、今後とも円滑な業務推進に向けてご協力をお願いいたします。

最後に、約5か月という短い構築期間での稼働には、多職種の連携があったからこそだと思います。職員の皆様には改めてご尽力いただき心より感謝いたします。



R7年度 新採用者の院外研修を企画して

看護部教育委員 レベルI 担当
園田 千尋

今年も10月1日に新採用者の院外研修を実施しました。看護師、臨床工学士、検査技師、栄養士、児童指導員の17名が参加しました。

研修生は入職し、およそ半年が経過します。様々な価値観を持った幅広い年代の人と関わる医療現場では社会人として求められる能力は多く、適応していくためのエネルギーや、命を預かっていることのストレスが大きいと考えます。自部署だけでなく職種を超えた繋がり、同じ境遇にいる同期職員との繋がりは何よりも心の支えになると思います。そこで今回の研修では職場を離れて開放的な雰囲気の中で「楽しい!!」と思えるような研修になるように企画をしました。

研修では入職後半年の自己を振り返り、仲間と意見交換をする場面を取り入れたり、バーベキューをすることで心身のリフレッシュをしてもらおうと考えました。職場とは違う場所で同期と話をする機会を作ることでより笑顔や笑い声が多く見られました。「皆も仕事で落ち込むことや不安なことを抱えている。1人ではないと感じることができました。」という意見も聞かれ、同期の親睦を深め、互いに支え合うことができる存在になれるようサポートできたのではないかと思います。研修生の楽しそうな様子を見て、同期の繋がりは大切にしていかなければならないと私自身も改めて感じるすることができました。

今後も自分自身も研修生が楽しめるような研修を企画し、ともに成長していきたいと思っています。



午前中は、心理療法士の橋本先生を講師に迎え、 ストレスマネジメントの学習

ストレスの対処法で、自分が大切にしていることや人を考え書くことで、自分はいろいろな人や物に支えられていることがわかった。
(研修生の意見より)

昼食はBBQ



午後の活動 テーマは「ONE TEAM！」

スプーンでピンポン球渡しやフラフープくぐりなど協力が求められるゲームで、あまり話していなかった同期の人ともたくさん関わることができ、作戦を立てたり、ハイタッチをしたりして親しくなれたのでうれしかった。(研修生の意見より)

*写真の掲載についてはご本人またはご家族の許可を頂きました。

「院外レクリエーション」再開にむけて

療育指導室 児童指導員
長本 芽久

コロナ禍があげ、5年間休止していた「院外レクリエーション」の次年度からの再開に向け、今年度はプレ開催として東1病棟から5病棟各病棟1回ずつ、別府公園への外出行事を実施しました。事前準備としてリフトタクシーへの車椅子の乗車シミュレーションや別府公園の下見を行いました。また、人工呼吸器等の医療機器が必要な方でも安心して参加していただけるよう医師、看護師だけでなく臨床工学技士やリハビリ職員などとも連携し準備を進めました。

当日は、出発直前に雨が降った回もあり実施できるかどうかドキドキすることもありましたが、全行程において医師、看護師、生活支援員が同行し計画通りに行うことができました。毎回、たくさんの職員に見送られ、大きく手を振りながら病院を出発しました。別府公園では竹林や芝生の中の舗装された道を散歩しました。風景や季節の風など、いつもとは違う刺激に利用者さんの素敵な表情がたくさん見られました。付き添いのご家族と思い出話や街の変化について会話が弾む様子もありました。病院に帰ってきた利用者さん、ご家族、職員の表情はキラキラしており、とても素敵な時間を過ごすことができたと感じました。ご家族からも「楽しい時間を過ごせてよかった」などうれしいお言葉が聞かれました。

今後も安全な実施に向け検討を重ね、利用者さんが家族や職員との交流を深めつつ社会ともつながり、療養生活をより豊かにできるよう取り組んでいきたいと思ひます。



ハロウィン

～「ありがとう」の気持ちを込めて いたずらしちゃうぞ!～



多機能型事業所「ひだまり」保育士
河野 由佳

多機能型事業所「ひだまり」では、人との繋がりを感じながら季節の移り変わりを感じるため、さまざまな行事を行っています。

10月の行事は、ハロウィンを行いました。「かぼちゃ」や「おばけ」など、かわいい衣装に身を包み、みんなでひだまりを飛び出しました。

今年のハロウィンは、ちょっと特別で「いたずらしちゃうぞ～」と驚かせながら、日頃お世話になっている病院スタッフへ「ありがとう」の気持ちを込めてプレゼントを持って行きました。

プレゼントに折り紙や色紙を使って、チョコレートやペロペロキャンディなどのかわいいお菓子やひだまりみんなで育てたアサガオで作った「しおり」を用意しました。

利用者さんはプレゼントを手渡す瞬間は、照れくさそうにしながらも嬉しそうな表情があふれ、温かい空気に包まれた時間でした。病院スタッフのみなさんからも「ありがとう」「大切にすね」といっばい温かい言葉と笑顔をもらい、素敵な時間となりました。

みんなの笑顔でいっばいのハロウィンは、心までポカポカになりました。



保育行事

「ハロウィンパーティー」



療育指導室 保育士
高橋由美

10月30日に未就学児を対象とした「ハロウィンパーティー」を実施しました。事前にご家族へお子様に着用してもらいたい衣装を準備してもらい、当日は可愛らしい衣装で参加しました。ご家族にも参加してもらい一緒にハロウィンバックを制作し、絵の具の色や顔のパーツをどこに貼るかなど会話を楽しまれながら、それぞれ個性のある素敵な作品が完成しました。最後に、病棟内をハロウィン行列で歩き、「お菓子をくれなきゃいたずらしちゃうぞ!」のかけ声に病棟スタッフからお菓子をもらったり、廊下に飾ってあった小さいお家の中からお菓子を発見したりしました。ハロウィンバックがお菓子でいっぱいになると、みんなで「お菓子いっぱいもらったね。よかったね。」と楽しく賑やかな時間を過ごしました。



ご家族と一緒にハロウィンバック作り



ハロウィンバック完成



病棟内を回って、お菓子をGET!



「動物ふれあい広場」再開しました! ～ワンちゃんに癒されて～

療育指導室 児童指導員
鳥羽 瀬 幸 成

当院には様々なボランティアさんによる活動があります。その中のひとつに「動物ふれあい広場」という利用者さんがボランティア犬と触れ合う活動があります。コロナ禍により5年間休止となっていましたが、面会制限の緩和とともに、活動再開を待ち望む声も多くなり、今年度から本格的に再開することができました！活動にはトイプードルや柴犬、ゴールデンレトリバーなど色々な犬種の犬が来てくれています。活動を通して、利用者さんの「癒された」「楽しかった」という声や、普段見られない表情や反応を見ることができ、一緒に参加した家族からは感謝の言葉が聞かれていました。これからもたくさんの利用者さんが活動に参加し、犬の持つ癒しのパワーや温もりを感じてもらいながら、日常の中に充実したひと時を過ごしてもらえよう支援を続けていきます。





ボウリング大会を開催しました!!



人材確保プロジェクトチーム 東3病棟 副看護師長 羽田明日子

令和7年11月14日、昨年に引き続いてボウリング大会を開催しました。このイベントは、日頃の業務の合間では中々ゆっくり交流できない職員同士が部署を越えて楽しくつながるきっかけになればという思いで企画・運営したものです。今年も100人近い職員が参加してくださり、スタート前から会場は活気に満ちていました。



ゲームが始まると、チームで声を掛け合ったり、ストライクやスベアが出るたびに大きな歓声が上がったり、自然とチームの一体感が生まれていく様子が印象的でした。普段はあまり話す機会のない職員同士が、投げ方を相談し合ったり、ハイタッチで盛り上がったりと、和やかな時間が続きました。

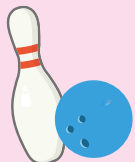
参加者からは「チームや参加者の雰囲気が良かったので楽しめた」「久しぶりに思いっきり笑った。来年も参加したいです!」との声をいただき、企画者として大変嬉しく感じました。部署の垣根を越えたつながりが生まれ、日々の業務の励みやチームワークの向上につながっていれば幸いです。今後も、職員同士が楽しく交流できる企画を続けていきたいと思います。

人材確保プロジェクトチーム 東1病棟 吉岡純礼

私は4月から前任者より引き継ぎ、人材確保プロジェクトメンバーになりました。昨年から開催されているボウリング大会ですが、今年も想像を超える人数の参加があり、とても嬉しかったです。

また、とても明るく楽しい先輩方が、スタッフみんなに声をかけてくれたり、お揃いのTシャツや師長さんの顔シールを作成してくれたり、とても盛り上げてくれました。普段関わる機会の少ない他職種の方々と交流でき、とても新鮮でした。

ゲーム中はチーム内外で自然と会話が生まれ、応援や笑い声が絶えず、想像以上に盛り上がっておりとても嬉しく思いました。個人では、統括診療部賞を頂くことができ驚きと嬉しさでいっぱいでした!



今後もみなさんが楽しめる様な企画ができるようメンバーとして頑張ります。ご参加・ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。





永年勤続表彰



勤続 30 年を迎えて

保育士 神鳥 由香

この度は30年永年勤続表彰をいただきありがとうございます。
ございます。

当院に採用となり、30年はあっという間でした。
結婚・出産・自分の病気など本当にここまでこれたのも家族の協力はもちろんですが、たくさんの職場の方に支えられたおかげだと思っています。
心より感謝いたします。

副看護師長 角田 美幸

西別府病院附属看護学校を卒業し、当院に就職してから30年が経過しました。これまでの歳月を振り返り、多くの方との出会い、そして支えていただいたことに心より感謝いたします。

今後も微力ですが、出来ることをひとつずつ積み重ねていきたいと思っていますので、今後ともよろしく
お願いいたします。

勤続 20 年を迎えて

看護師 西野 晋也

平成17年に入職して、20年が経過しました。最初は先輩方に怒られながら業務を行っていましたが、後輩を指導する立場になり責任も大きくなっていますが、周りのスタッフの支えで働くことができます。一般病棟から神経難病、重症心身障害児（者）と他の病院ではなかなか経験できない患者さんとの関わりや看護を学ぶことができ、貴重な体験をさせていただいて感じています。とても感謝しており、これからも頑張っ
て勤めていきたいと思っています。

看護師 加茂 智美

この度は、20年勤続表彰を頂きありがとうございます。
ございます。

看護師となり、20年も経つことに自分自身が驚いています。長く勤めることができているのも、多くの方々が温かく支えてくださったおかげと心より感謝しております。

これからも日々努力し仕事を続けていきたいと思
いますので、今後ともよろしく
お願いいたします。

勤続20年を迎えて

副看護師長 須賀 美佳

当院に採用となり20年間、嬉しかったこと、辛かったこと等、色々なことがありました。挫けそうになったこと、実際に挫けたことも多々ありましたが、尊敬する先輩や素敵な同僚の皆様のおかげで、現在まで勤続することができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、今の自分にとって最高の看護が実践できるよう、自己研鑽と努力を積み重ねていきたいと思っています。また、微力ではありますが、病院職員の皆様に貢献できるように努めていきたいと思っています。この度は本当にありがとうございました。

看護師 伊藤 由香

当院に転勤してきて20年間、病棟勤務に始まり院内でのコロナに対する対応、コロナ療養宿泊施設での看護の経験など、様々な経験をさせて頂きました。体調を崩すこともありましたが、ここまで継続できたのはたくさんの職場の方に支えられてきたおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

療養介助専門員 三浦麻衣子

私が入職したのは、西別府病院が独立行政法人になった翌年の平成17年4月1日です。

重度心身しょうがい者の方が療養している南1病棟。介助員は、4名みのみのスタート。助手業務をしながら排泄・食事介助を行っていました。

その当時は、まだ布おむつを使用、食事も病棟で盛り付けを行っていました。慣れない日々でしんどいなあと思う時もありましたが同期や他職種の職員に支えられ、また、患者様やご家族との関わりの中でやりがいを感じる場面も多く、気づけば20年。振り返ると人と関わる仕事のおかげで学びがとて多かったと思います。

最近目にした言葉で印象に残っているのが「自分以外の誰かのために」そのような気持ちを持って今後も誠実に仕事をしていきたいと思っています。

他にも以下の方々が永年勤続なされました。

●永年勤続30年

呼吸器内科部長 河野 宏

●永年勤続20年

生殖遺伝科医長 松田 貴雄

看護師 裏 道代

看護師 大江 揚子

看護師 築山恵里奈

看護師 藤田 優子



慶祝のご紹介

このたび受章の榮に浴されたお二人をご紹介します。 病院長 末 延 聡 一

秋の叙勲



瑞宝中綬章
元国立病院機構 西別府病院 院長
菊池 博 先生
(西別府病院 名誉院長)

瑞宝小綬章
元国立病院機構 西別府病院 検査技師長
金丸 和浩 さん

誠にありがとうございます、職員一同慶祝申し上げます。

「受賞しました」大分県小児保健学会賞 -多機能型事業所「ひだまり」-からの報告

多機能型事業所「ひだまり」保育士
河野由佳

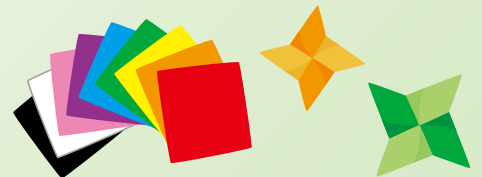
8/31に開催された大分小児保健学会で「感覚を刺激する室内装飾の課題と実践」というテーマで研究発表を行いました。

利用者さんと過ごす中で、色や音、手触りなど、さまざまな感覚への刺激が利用者さんの笑顔や反応につながることを日々感じています。特に今回の制作活動にあたっては、保育士だけでなく看護師とも意見を出し合い、それぞれの利用者さんがどんな感覚を好むのか、どんな反応をするのかを共有・検討しながら進めました。例えば、音の出る素材（ビニール袋）を使って手で触れて楽しみながら制作したり、装飾に文字を取り入れたり、一人ひとりに合わせた対応を工夫しました。

今回、こうした現場での実践を通して見えてきた課題や利用者さんの反応を紹介したところ、大変光栄なことに学会賞を受賞することができました。

これからも職員みんなで力を合わせて、利用者さんが安心して心地よく過ごせる空間づくりを続けていきたいと思っています。

最後に、今回の研究発表にあたりたくさんの方々のご指導をいただきました。心より感謝いたします。



7・8・9・10月

行事食の紹介

栄養管理室・栄養士
久木元美咲

今回は7月から10月までの行事食を紹介します。

行事食では普段のメニューに加えて、その行事ならではの料理や旬の食材を用いて入院生活の中でも季節の移ろいや特別感を感じていただけるよう献立を工夫しています。

7月の七夕には色とりどりのそうめんを用いた七夕そうめんの提供を行いました。めんつゆは既製品ではなく、調理師が椎茸やかつお節からだしをとって作った「旨み濃厚めんつゆ」を提供し、見た目だけでなく味も満足いただける1品になりました。

9月の秋分の日には、きのこの炊き込みご飯、秋の吹寄盛り（いが栗南瓜団子、焼舞茸・银杏・紅葉麩）、すまし汁、おはぎを提供しました。秋の吹寄盛りではかぼちゃとトマトピューレを使ったソースでお皿を彩り、盛り付けにもこだわりました。

10月の十五夜は季節を感じられるよう秋の食材をたくさん使った、くりご飯、ロールキャベツ、秋の根菜サラダ、つみれ汁、ロールケーキの提供を行いました。

また、その他にも毎月1回その月に誕生日を迎える患者様へのお祝いの意味を込めた誕生日食の提供をしています。行事食を提供する際には栄養士がその行事に合ったメッセージカードを作成し食事に添えて提供を行っています。患者様から提供いただいた絵や写真、イラストをお借りして作成する場合もあり、作品を作成された方の温かいメッセージが多くの方に伝わるようにという思いで作成しています。ぜひメッセージカードにも注目してみてください。

行事食の写真は西別府病院のインスタグラムにも掲載しています。

定期的に更新を行っていますのでアカウントのフォローや投稿へのいいねを押していただけると大変励みになりますのでぜひ宜しくお願いいたします。



七夕



秋分の日



十五夜



誕生日食

外来診療担当表

令和7年12月1日現在

	月	火	水	木	金	備考
呼吸器内科	河野 瀧川	中野	河野 瀧川	中野 大津	河野 中野 大津	
循環器科 (生活習慣病改善外来)	非常勤医師 (午前のみ)	麻生	非常勤医師 (午前のみ)	麻生	麻生 非常勤医師 (午前のみ)	
消化器科	佐々木(外科) 城内(内科)	佐々木(外科) 城内(内科)	佐々木(外科) 城内(内科)	佐々木(外科) 城内(内科)	佐々木(外科) 城内(内科)	
神経内科	花岡 後藤(勝)	中村(憲)	花岡 後藤(勝)	中村(憲)	岩尾	
小児科	末延 後藤(一)	今井 内山	植田 後藤(一) 平松	内山 平松	末延 今井 植田	要電話予約
A Y A 外来			末延			午後のみ
児童精神科	有馬	有馬	有馬(午後のみ) 非常勤医師 (16時まで)	有馬 (午前のみ)	有馬	要電話予約 (電話受付10:00~15:30)
脳神経外科	佐古田 (脳卒中予防、 頭痛を含む)	—	—	佐古田 (脳卒中予防、 頭痛を含む)	—	
生殖・遺伝科	松田	松田	松田 女性診療・女性医師 14:00~16:00 (第1・3週)	松田	松田	要電話予約 要メール予約
頭痛外来	花岡 後藤(勝)	中村(憲)	花岡 後藤(勝)	中村(憲)	岩尾	
A L S 外来	—	花岡	—	—	—	予約制
睡眠時無呼吸外来	—	麻生	—	麻生	麻生	要電話予約
セカンドオピニオン	花岡、後藤(勝)＜神経内科＞、末延＜小児科＞、その他内科など					要電話予約
スポーツ医学 センター	松田	松田	松田	松田	—	要電話予約




独立行政法人 国立病院機構
西別府病院



ホームページ



Instagram



患者さまへのサービスをより細やかに、地域に貢献する病院をめざし、より信頼される医療を行うために、西別府病院は病院ボランティアを募集しています。

詳しくは当院ホームページ ([http\(s\)://nishibeppu.hosp.go.jp](http(s)://nishibeppu.hosp.go.jp)) をご参照願います。